

住民交流の広場「交流プラザ“なごみ”」を開設
 町民の交流と商店街の賑わいが再生

佐呂間町商工会

機関名	佐呂間町商工会			
所在地	北海道常呂郡佐呂間町字永代町3番地			
電話番号	01587-2-3448			
地域概要	(1)管内人口	67千人	(2)管内商店街数	2商店街
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数	1商店街	(2)会員数	86商店
	(3)空店舗率	16.2%	(4)大型店空き店舗数	0店
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街			

【事業名と実施年度】

平成15年度 コミュニティ施設活用商店街活性化事業（高齢者等交流施設）
 ・商店街交流プラザ「なごみ」設置、運営事業
 総事業費 8,929千円

【事業実施内容】

1. 背景

佐呂間町は、北海道網走管内のほぼ中央部に位置し、町の北方一帯はサロマ湖に面している。天北山系の山々を背景に東西に長く延び、南から北に傾斜した丘陵地帯である。中央を流れる佐呂間別川はサロマ湖へと注ぎ、流域一帯に肥沃な大地が広がっている。町の名は、アイヌ語の「サロマ・オマ・ペット(葦のあるところの川)」から“サロマ”となり、大正4年に“佐呂間”と和文に転用された。

当町の商店街は、人口の減少と高齢化に加え、長引く不況と近隣都市への消費流出により、一段と厳しさを増している。空き店舗も15ヶ所に上っており、このままでは「シャッターを閉めた商店街」になりつつあり、緊急に賑わいを創出する対策を講じて本来あるべき活気を取り戻す必要がある。そのため、空き店舗を有効に活用し、住民にとって利便性のある「暮らしの広場」となる商店街の形成を目指すことにより、商店街の活性化を図ることとした。



佐呂間町の位置
 (佐呂間町HPより)

2. 事業内容

商店街の空き店舗を町民の交流の場、情報発信の拠点、地域に密着したイベント開催等の場として活用し、商店街の活性化を図るため、商工会内に空き店舗対策委員会を設け、以下の事業を実施した。

(1) 事業概要

- ①施設名称 交流プラザ“なごみ”（公募により決定）
- ②実施期間 平成15年7月20日～平成16年3月31日（プラザオープン8月8日）
- ③所在地 佐呂間町字永代町77
- ④規模 約74㎡
- ⑤営業時間 午前10時～午後8時



交流プラザ“なごみ”外観



交流プラザ“なごみ”施設内

(2) 実施内容

①特産品PR事業

1) 特産品常時展示

町内企業・商店に協力を仰ぎ、特産品PRのための常設展示コーナーを設置。

2) 地元特産品販売

地産地消運動として、地元特産品の土付き大根、貝付きホタテ、貝付きカキ貝の、数量限定の原価販売を実施。



特産品PR事業

②カルチャー教室事業

佐呂間町および関係機関に協力を仰ぎ、「商店街ガーデニング教室」、「英会話教室」、

「インターネット体験教室」、「小枝クラフト教室」、「パソコン年賀状作成教室」、「ステンドグラス講座」等の、少人数で多様なカルチャー教室を開催。

- ・開催回数 38回
- ・参加者数 107人



カルチャー教室事業

③ギャラリー事業

「陶芸作品展」、「絵画展」、「トールペイント作品展」、「七宝焼き」、「昭和文具展」、「サロマ湖フォトコン応募作品展」「裂き織、陶器、ちぎり絵作品展」等、さまざまな町内のサークルからの作品の出品による展示会を行った。

- ・展示出品サークル（個人団体含む） 11サークル
- ・展示日数（休刊日を除く） 169日



ギャラリー事業

④情報事業

1) 商店街メルマガ、ミニコミ紙の発行

- ・商店街メルマガ

佐呂間町の「ほぼ週間さろま」に商店街のページを作成し、配信を実施。

- ・商店街ミニコミ紙「REED」

季刊紙として、年3回新聞折込で配布。

2) サークル、商店街ポイントカード、参加型イベント受付

- ・町内にあるサークル団体の掲示、加入受付。
- ・商店街ポイントカードの申込受付、町や団体などが主催する文化講演会・寄席などのチケットの取り扱い。

3) 行政観光商店街等情報

町の発行している広報誌、たよりをはじめ、町村合併情報、観光情報、新作商品案内などをパンフレットや掲示板、インフォメーションで紹介。

4) パソコンインターネットの無料利用

無線LANによるインターネット接続を無料開放。延べ1,044人利用。

⑤ふれあい事業

1) 交流サロン

来街者が気軽に休息できる空間として、お茶の無料提供、コーヒーの原価提供を実施。

2) ふれあいイベント

オープニングイベントを始め、「マンガ古本市」、「スキー用品リサイクル市」等のイベントを実施。

(3) 施設利用実績

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	24日	28日	28日	25日	26日	25日	24日	15日	195日
来場者数	527人	586人	594人	671人	625人	691人	531人	328人	4,553人

【 効 果 】

・来街者の行動

交流プラザの設置により、主婦層や学校帰りの学生等の商店街への来街が促進されるとともにまちなかでの滞留性が向上した。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

・個店への効果の波及

一つの空き店舗が埋まり、施設の利用客もあり、少しではあるが来街者が増え、商店街が明るさを取り戻そうとしている。今後、周辺の各商店がこれらの来街者に対し、自店に導くための商業活動をどのようにしていくかが大きな課題である。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

事業実施に当たっては、商店街の人たちだけでなく、街の文化・サークル活動等様々な分野で活躍している人たちがいかに興味を持ち、協力していただけるかが大切である。

【 関 連 U R L 】

佐呂間町商工会 <http://www.phoenix-c.or.jp/~sashouko/>

佐呂間町 <http://www.town.saroma.hokkaido.jp/index.html>